

書名	陰日向に咲く		出版年 (西暦)	2006/01
著者・編者	劇団ひとり		出版社	幻冬舎
学部・研究科	人文学部 社会科学科		学年	1年
<p>この作品は、ありふれた日常を描いていて、ありふれた「たかなかたない」 「けい」とも「なにか」は「自分にもかきこえる、感じのリアルな」 零細なたたき作品です。短編集であり、話がとこりとこりで 続いている、でも1編で完結もしている。そのため、ぬどうとさかりは 人でもサクサク読み進めし、途中であきらめてもたしめる本だと おもいます。私は本を読むのが少し苦手な「たかなか」本も読むこと が少なかったですが、「お笑い芸人が描いている小説とはどんなものだろうか？」 はたして劇団ひりりは小説でもおもしろいのか!!!?」と言うくらい気持ち で読み始めたら、1日で読み終わる程ハマりました!! ほんとに 読みやすくて、たい作品です。映画化、漫画化もされており、 私は映画を見たのですが、小説と少し違い、どちらもたしめる 作品にたっています。ちなみに映画では感極まってあうく涙を こぼすところでした...!! 漫画は読んだことがないので、読んだ ことは、もていう方がいたら、ぜひ貸して下さい!!! (これ、一緒に お話をしよう) またお笑い芸人の作品では「アンジャッシュのかわこ んく方の渡部建二が描いた「エスケープ」や「うたじろく」が 描いた「とくと来た、超常現象」などもとても感銘深い作品となってい るので、ぜひとも読んでみて下さい!! 以上 永年利英の僕とあなたと 「これ本」のコーナーでした!!</p>				

